

木造家屋建築工事における建築物、構築物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	17~18	新築そっくりさん工事において、1階床断熱材、床合板の施工を行っていたところ、根太間の床断熱材であるグラスウールを誤って踏み抜き、右足脛を根太に強打し負傷した。	57	—
2	16~17	住宅外壁塗装工事において、2階の外壁の塗装中、塗装道具を持ち込む際に2階部分の手摺を掴んだところ、突然手摺が外れ、そのまま落下した。落ちた際の衝撃で左足大腿骨を骨折した。	19	—
2	15~16	住宅解体工事の現場で1階部分の屋根がなくなっている場所に廃材トレイがあり、そこへ工具を取りに行こうとしていた。休憩直後であったためヘルメットは着用していなかった。頭上より50cm四方のモルタル壁材20kg以上が崩れ落ちて頭頂部に当たり倒れた。8cm位頭部を切り出血した。	33	1~9
2	12~13	木造新築工事現場で木造躯体の建方中に、1階部分組み上げ後、2階床の合床（24mm）敷き、2階躯体を組み立て中、幅105mmの木材上でアリ組みをカケヤで押さえ中、バランスを崩し高さおよそ2.7mから落下した。落下した位置に掛けやの柄があり足を強打した。	40	1~9
3	9~10	建て方工事中、土台から土台へ移ろうとしたとき、踏み外して変に着地して膝を捻った。	57	10~29
3	14~15	2階建てのアパートの解体作業現場で2階の部屋の建具を外し、その建具をバルコニーから1階の2t車へと落としていた際、バルコニーの床が抜け落下し、1階のコンクリート床で腰を強打した。	61	1~9

3	13~14	木造二階建新築工事現場で二階床下地板を張る準備中、二階梁の上を歩いているとき、足を滑らせて落下防止用のアミと梁のすき間から転落し、3m下の床組下地の 大引の上に足から腰、頭の順に打ちつけた。	62	1~ 9
3	10~11	床の間解体工事で床柱取り外し作業中、床柱に巻いたベルトの掛け方が悪かった 為、床柱が倒れ、床柱と根太の間に右腕をはさまれ負傷した。	63	1~ 9
4	9~ 10	会社事務所敷地内の単管小屋（壁無しで単管組上）の修理作業のため、約3.5メー トルの高さに登りクランプの締め付け作業をしていたところ、足を滑らせ地面に落 下した際、左足踵を強打し骨折した。	20	10 ~ 29
4	10~ 11	改築工事現場でブロック解体作業中、誤って倒壊したブロック（約300kg）の下敷 きになり、腹部、腰部等（上半身）を負傷した。	48	1~ 9
4	9~ 10	新築工事現場にて棟上げの準備をしていたとき、移動しようと基礎土台部分に乗っ た時に滑って、胸を強く打った。	66	1~ 9
4	10~ 11	小屋解体作業現場において、廃材を手で引っ張っていたところ急に分解して外れ、 バランスを崩して体が後方に転倒した。その際、体をかばう為に肘から地面につ いたところ肩を痛めた。	49	1~ 9
5	10~ 11	新築工事現場において、建方作業初日に二階床合板敷き込み作業中（梁上、合板小 口にボンド塗り）、平行移動したところ資材に接触しバランスを崩し、左足を梁上 に出し体勢を立て直そうとしたところ柱脚金物（ホゾパイプ）に上がってしまいバ ランスを崩し、梁630mm×880mmの間から2,880mm下の一階床へ落下し、背中を強打 した。	63	1~ 9
5	14~ 15	住宅新築工事において、資材（金物）を箱に入れて運搬している時、コンクリート 基礎（高さ約1m）を乗り越えようと、基礎の上に走って降りる時バランスを崩し て転倒し、左手で受け身をとったが、左手を強く打ちつけた。	16	1~ 9
5	17~ 18	作業員Bがロフトから続く吹抜け部の床パネルを脚立で作業中、ロフトから被災者 が手伝いに来て際にバランスを崩し、二階の床パネルに転落し腰を負傷した。	60	1~ 9
6	11~ 12	当社請負先の建築現場にて、1階部分にかけた脚立の下部部分から降りる時に足が ぶつかってしまい、左足を負傷した。	63	1~ 9

6	9~ 10	個人宅外構工事現場で、老朽化したコンクリート塀の撤去作業中、コンクリート塀の鉄筋を切断したところ、塀が倒れてきて、避けきれずに足腰腕等を負傷したものである。	48	1~ 9
6	16~ 17	2階の改修工事にて、道具や資材の運搬中にトラックの荷台（約1m）から降りる時、下部にあった段差（約4cm）で足を滑らせ転倒し、右足首を捻り、足首の靭帯を損傷した。	41	1~ 9
6	16~ 17	個人宅新築上棟作業中、2階屋根の桁上を移動中に誤って足を踏み外し、直下の2階床に転落したため、第11胸椎を損傷した。	64	1~ 9
7	11~12	営業所内にて足場資材の整理作業中、結束された支柱（3600）を指定箇所にフォークリフトで積み上げていた。支柱整理用の台木が斜めになっていたため、台木を直そうと支柱最上段によじ登り直し終わって降りる際、誤って転落、約3m下の鉄板上に背中から転落、背骨を骨折した。	28	1~ 9
7	14~15	会社倉庫入口の扉（重さ約130kgの鉄製板製）を塗装修理するため、レールからはずし、下に角材を入れて、3人でゆっくり扉を下に降ろす作業をしていた時、途中でバランスが崩れ、すぐ離れるよう声をかけられたが間に合わず、左足の甲に落ち、ヒビが入った。	59	1~ 9
7	15~16	土留工事に従事中。土を入れた所の凹凸をスコップにて後退しながら均していたところ、土に踵足が取られバランスを崩し尻もちをついた瞬間、擁壁上部に出ていた鉄筋（直径約9m/m、長さ約20cm）が肛門の右側に刺さり受傷したものの。	75	1~ 9
7	11~12	木造住宅1階浴室外壁部にて、外装工事作業中、外部一側足場及び隣地境界コンクリート立上りにおいて、足場から近い場所に隣地境界コンクリート立上りがあり、足場の手摺を超える、もしくは潜り抜けた場合、隣地境界コンクリートに降りることが出来た。足場と境界コンクリート立上りの隙間に金梯を落としたため、それを拾おうとして足場の手摺を潜り抜け、境界コンクリート立上りの上に足を掛けたところ、足が滑り、体が横倒しになった際、右胸部を境界コンクリートに強打した。	65	1~ 9
		CB塀W=3,600×H=1,400をエンジンカッターで下段1段残すよう切断してバックホーで倒し撤去する段取りのため、バックホーの準備ができるまでの間にエンジン		1~

7	13~14	カッターでW=1,800（半分）まで切断するところを全て切断してしまい、塀が倒壊し被災者は下敷きとなり負傷した。	49	9
7	8~9	カゴを重機で挟もうとしたら階段に接触をして、落下して被災者に当たった。	44	1~ 9
7	10~11	改築工事現場に於いて、家の中のタンスを別棟の住宅に運ぶ途中、敷居につまずいて転んで左肩を負傷した。	56	1~ 9
7	8~9	震災被災家屋ジャッキアップ工事現場で一輪車にて土を運搬する作業中に、注意不足から足を踏み外し、準備のために掘った溝（60cm深）に落下し、腰を強打した。	54	10 ~ 29
7	19~20	新築工事現場において現場作業終了後、片付けをしている際、玄関ポーチ（基礎部）と地面の段差約50cmを、道具箱を持って降りようとして左足首をひねった。靭帯損傷と診断され、左足首を固定した。	18	100 ~ 299
7	15~ 16	新築工事現場において、2階の木張り前の断熱材の引きこみ作業中に誤って断熱材に足を乗せてしまい、そのまま断熱材を踏み抜き、1階まで落下し負傷した。	51	1~ 9
7	9~ 10	狭い道路に隣接したコンクリートブロック構造の車庫を、重機による解体作業中に、道路にこぼれ落ちたコンクリートブロックの塊を手作業で除去中、ブロックの上に上部（約80cm）からブロックが落下して、下のブロックとの間で左手人差し指を骨折した（開放骨折、動脈断裂）。	63	10 ~ 29
7	11~ 12	基礎上部にて作業員が2人1組で墨出し作業を行っており、メジャーで計測するため、被災者が後方へ後ろ向きのまま歩行しようとしたとき、足元の鉄筋に躓いてバランスを崩し、背面方向の基礎掘削機（根伐り底）へ右片足を着地した。その際、残った左足太腿裏側の差し筋（立上がった鉄筋）に接触し、鉄筋キャップが外れ、太腿に刺さり、裂傷した。原因は、当時、基礎周りの埋め戻しが完了しておらず、足元の不安定な状態で作業を行ったこと、足元周辺の確認を行わずに危険な後ろ向き移動を行ったこと、作業開始前のリスクアセスメントが徹底されてなかったことが考えられる。	36	1~ 9
	13~	工業資材置場の倉庫片付け作業中に、コンプレッサー（約14kg）を運搬中に、倉		1~

9	14	庫段差でバランスを崩し転倒し、右足を負傷した。	18	9
9	9~ 10	新築工事にて建前当日、柱を大桁に掛けにくかった為、ホゾに入れようと高さ約2m85cmの大ヌキに上がって木材を寄せていたところ手が滑り下に落下。両足を強打し痛みが強く、自力では立てなかった。	54	10 ~ 29
10	9~ 10	看的表示板（約100kg）を取り付けする為、開口部の確認を行い3名で小運搬、開口部に表示盤を設置しクサビにより仮固定を行う。看的所内に2名、外に1名配置し、微調整を行っている際、クサビがゆるみ外側に回転しながら落下。外で作業していた被災者が、左肩、背中、頸部、腰部挫傷してしまった。	49	10 ~ 29
11	14~ 15	住宅基礎枠解体作業中、先に基礎コンクリート暖房用の養生テント撤去中、雪・氷等が少々あって、型枠の上で滑り1.3m下に顔からつんのめって、転落し、前頭部の額を5~6cm縦に裂傷した。	63	1~ 9
11	9~ 10	新築工事の現場において作業中材料を取りに下りる際、階段を使わず1m下の踊り場に飛び降り勢い余って板を破壊し、3m下に落下し、負傷した。	54	1~ 9
11	11~ 12	建物解体中最後に残った1、2階浴槽ブロックの解体中、1階部分ブロック斫り中2階の重量で転倒する。その時右足が挟まった模様である。	63	1~ 9
11	16~ 17	住宅新築現場で、作業終了後トイレへ行こうとした際、安全通路の前で、外装大工が作業をしていた為、邪魔をしては悪いと思い境界のブロック（約H1200）に上ってトイレへ行き戻って来た際同じようにブロックの上から飛び降りて着地した時に、バランスを崩して足をひねり負傷する。	24	10 ~ 29
11	15~ 16	3人で高床式倉庫の高床の木材を敷き均す作業中に1人が転倒しそうになり、掴んだ木材が倒れて来て、顔面に当たり、顔面からの出血と顔面骨折をした。	69	1~ 9
12	14~15	木造家屋の人力解体中に、右側を縁切りしたモルタル付の壁を親綱で2箇所固定し、手前に引っ張って倒す作業を行おうと、周囲の安全確認や、全員で声を掛け合って退避行動を促していたが、壁を倒した際に被災者の退避が間に合わず、右足の太腿にぶつかり、その衝撃で尻餅をつき、壁が重力に従い手前に迫った結果、足首が床との間で圧迫された形となった。	50	~ 29
		倉庫外部の片付け中、4m上の石垣の草を取っているとき、道具を受け渡したあと		1~

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html